

## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策：05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

担当部長職・氏名	教育次長 長嶺 敏彦
----------	------------

1. 政策の実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	市民一人一人が生涯にわたって、学び合い、教え合い、学んだ成果を活かし合うことにより、人や地域とのつながりや伝統文化の継承等が図られ、心豊かで健康な社会生活を過ごし幸福感が育まれている状態を目指します。
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %	31.7	35	36.5	38	40	41	-	
			38.5	45.6	58.4	-	-	0.0	
2	幸福 趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合 単位 %	15.7	17	18	19	20	21	-	
			15.3	18.3	16.7	-	-	0.0	
	単位								

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 05010000 教育基盤の充実 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合 単位 %	31.7	35	36.5	38	40	41	-	
			38.5	45.6	0	-	-	0.0	
2	幸福 05010000 教育基盤の充実 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %	49.9	52	54	56	58	60	-	
			51.6	53	0	-	-	0.0	
3	暮らし 05020000 学校教育の充実 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %	68.8	75	75	75	81.3	81.3	-	
			68.8	87.5	0	-	-	0.0	
4	幸福 05020000 学校教育の充実 仲の良い友達の数 単位 人	6.06	6.5	7	7.5	8	8.5	-	
			5.39	6.09	0	-	-	0.0	
5	暮らし 05030000 学校給食の充実 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単位 kg	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	-	
			9,805	9,114	0	-	-	0.0	
6	幸福 05030000 学校給食の充実 家族一緒に食事をする回数（1週間） 単位 回	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	-	
			9.51	10.17	0	-	-	0.0	



## 前期基本計画 平成30年度 政策方針書

政 策：05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

担当部長職・氏名

教育次長 長嶺 敏彦

### 2. 政策の実現に向けての現状を認識する

#### (1) 政策目標の進捗状況分析

地域全体（子ども・家庭・学校・地域・行政）が連携し、協力して教育活動を推進していくことは、みんなで学び、共に育っていくまちづくりにつながるものと考えます。この指標である「子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合」は58.4%と平成31年度目標値（41.0%）を既に超えており、好ましい状況にあると考えます。また、学んだ成果を披露したり、活かしたりすることは、個人の満足感を高めるにとどまらず、新たな出会いやふれあい等により地域のつながりも強まると考えます。この指標である「趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合」は、年度により高低があるものの平成31年度目標値（21.0%）に対して16.7%であり、今後さらに推進する必要があると考えています。

#### (2) 政策の実現に影響する社会環境変化

- ・急速な情報化社会の進展に即応して、生きる力として情報活用能力の育成と情報モラル教育の徹底は必要不可欠なものとなっています。また、学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中、教職員の長時間勤務の改善が課題となっています。
- ・2016年に開催された希望郷いわて国体の遺産（レガシー）の次世代継承、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ振興はもとより次代を担う青少年の健全育成や郷土意識を醸成する必要があります。

### 3. 政策の実現に向けての取り組みを決定する

#### (1) 政策の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針

- ・学習環境の改善については、引き続き滝沢中央小学校の整備を進めるとともに、市内小中学校の児童生徒数の動向等を踏まえ、中長期的な見通しのもとに望ましい学校配置のあり方について検討を進めます。
- ・老朽化した学校施設・体育施設等の修繕、適切な維持管理により長寿命化に努めます。
- ・学校ICT化の促進については、児童生徒の教育用コンピュータのほか教職員の校務用コンピュータについても整備に努めます。
- ・生涯学習の推進については、学校教育は滝沢市学校教育指導計画、社会教育は第1次滝沢市生涯学習推進計画、スポーツ振興は第1次滝沢市スポーツ推進計画に基づき推進するとともに、生涯学習の拠点施設である図書館の充実を図ります。
- ・学校給食については、地場産品等の活用を図りながら、学校と連携し食の指導の充実を努めます。

#### (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成30年度の重点課題

- ・滝沢中央小学校については、平成31年4月開校に向けてソフト面も含め着実に整備を進めます。
- ・学校教育においては、確かな学力を育むため、わかる授業の推進と家庭学習の充実などの取組をさらに充実させるとともに子どもたちが安心して生き生きと生活できる学校づくりを目指します。
- ・第1次滝沢市生涯学習推進計画前期基本計画の確実な展開と同後期基本計画の策定を進めます。
- ・希望郷いわて国体の遺産（レガシー）の次世代継承と生涯スポーツ・競技スポーツの推進を図ります。

#### (3) 基本計画内方針及び平成30年度重点課題に基づく優先順位の考え方

- ・滝沢中央小学校の建設並びに開校に向けたソフト面の準備
- ・子どもたちの確かな学力を育む教育の推進と豊かな人間性や社会性の育成
- ・生涯学習の展開と後期基本計画の策定
- ・生涯スポーツ・競技スポーツの推進

